

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	4	竹 田 努	
<p>1. 広域連携事業について</p> <p>執行方針、予算計上の中で広域連携事業が随所に出てきます。それぞれ事業ごとに担当課も異なり、広域連携の意味合いから共通するものもあるのではないのでしょうか。連携事業のより良い効果を出すためにも連携集約する担当課を設けるべきと考えますが、次の3点について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 広域観光連携事業は、今までの広域観光の取り組みと異なるものか。</p> <p>(2) 移住・定住3町広域連携事業は西部3町なのか。具体的構想は。</p> <p>(3) 渡島西南地区医療介護連携ネットワーク(木古内・知内・福島)を立ち上げ、関係者の研修、住民への普及啓発を3町合同で行う構想は理解できるが、町単位での実績成果から合同で取り組む具体的メリットは。</p>			町 長
<p>2. 防災について</p> <p>防災について、執行方針では大きな変動等もなく、前年度を踏襲した内容となっていますが、福祉都市として高齢化率50%を視野に入れた防災体制を確立すべきと考えます。</p> <p>4月から、町営の特別養護老人ホームがスタートしますが、先日の札幌市内の自立支援施設の火災を教訓に防災組織等、特に福祉施設の避難、防災訓練等を強化しなければならないと思います。また、2年前にも自主防災組織について議論させて頂きました。災害発生時には、近所の「共助の力」が必要であり、自発的自主防災組織を後押しするのではなく、行政主導で組織化すべきと考えますが町長の見解を伺います。</p>			町 長

<p>3. 企業誘致について</p> <p>一昨年(2019年)の9月定例会で木古内町企業誘致振興促進条例を最高5千万円の補助を含め、町内業者も対象になるよう大幅に改正しました。</p> <p>企業誘致は、我が町にとって最大の事業となることから、議会としても真摯に議論をしなければならないと思っています。</p> <p>そこで、現在までに企業誘致関係の話題が2件出てきました。</p> <p>1件は町内でのホテル建設と、もう1件は東京江戸川区からの福祉施設誘致です。私は、以前から福祉都市を強調した人口減少対策、移住定住対策に繋がる施策を打ち出すべきと訴えてきました。そのことが実現の可能性が出て、大いに期待をしています。</p> <p>ホテル建設については、議会としてどのように扱うか、協議の結果、総務・経済常任委員会で議論することになりました。その後、宿泊業者等からの建設反対の陳情が議会議長宛に出され、2月16日開催の第7回総務・経済常任委員会で副町長より、今日までの経過説明がありました。私は、議員として何をどうすればいいのか困惑しています。また、陳情行動に加え、建設反対署名運動まで発展し、町を二分する運動になることを危惧しています。20数年前小学校建設用地で同様の反対運動により町を二分する運動となり、裁判闘争まで発展しました。そのしこりが長く続いた思いが脳裏をかすめ、町民を二分するようなことだけは、何としても避けたいと思っています。</p> <p>以上のことから、次の2点について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 福祉施設誘致についての具体的構想等について</p> <p>(2) ホテル建設に伴う住民運動をどう考えているか。</p>	<p>町 長</p>
--	------------